

市政ニュース

JR城崎温泉駅にエレベーターが完成 温泉街の玄関口 車椅子利用者や高齢者に配慮

11月7日、車椅子利用者や高齢者にも利用しやすいようにとJR城崎温泉駅で設置工事が進められていたエレベーター2基が完成し、完成式典が行われました。

このエレベーターは、同駅の1番と2・3番ホームにそれぞれ設置され、既存の跨線橋に接続しています。総事業費は約1億3千万円で、市とJRのほか、地元の各種団体が構成する「城崎温泉駅を愛する会」からの1、500万円の寄付により設置されました。

当日、1番ホームのエレベーター前で開かれた完成式典で、城崎温泉駅を愛する会代表の西村 肇さんは「城崎のように駅から続く観光地は全国的にも珍しい。これから観光客を気持ちよく迎える



完成したエレベーターの前でテープカットする関係者ら

れるようにしていきたい」と話していました。

また、この日は、往復特急とカニ料理の昼食がセットになった旅行プラン「かにかに日帰りエクスプレス」も始まり、地元の旅館経営者らは、和太鼓演奏や雑炊を振舞うなどして観光客をもてなしていました。

港地区県民交流広場「わくわく館」が完成 地域の活動拠点施設として新たに整備

11月4日、港地区県民交流広場(愛称「わくわく館」)が港地区公民館の敷地内に完成し、関係区長や行政関係者、地元関係者などが集り、竣工式が行われました。

この建物は、港地区区長会が県の平成19年度「県民交流広場事業」の補助を受けて建設されたもので、木造平屋建て瓦葺、床面積約100平方メートルで、交流広場のほか、湯沸し室、倉庫、ベビーベッドを設置した多目的トイレを

備えています。

今後、乳幼児学習サークルや高齢者生きがい教室などの公民館活動や地域コミュニケーションの活動拠点として活用されます。



「わくわく館」の完成を祝い、くす玉を割る関係者ら

第2次霊園整備事業候補地が正式決定 平成22年度の完成を目指し整備に着手

11月8日、第2次霊園整備事業の候補地として検討が進められている市場地区から、整備事業の受け入れについて正式に合意をいただきました。

現在の高屋霊園は、昭和45年に供用を開始して以来、1、311区画の霊域を保有していましたが、ほぼ全区画について永代使用の許可を行っています。そのため、現在、待機者が100人を超す状態と

なり、早急に第2次霊園の整備が必要とされてきました。

同候補地は、まとまった4ヘクタールの土地があることに加え、平地面積が多くバリアフリー対策が容易で、幹線道路に近接していることなどから候補地として検討が進められてきました。

市では、今回の合意を受けて平成22年度の完成を目指し、整備事業を進めていきます。

主な市政の動き

【10月】

- 13日・鳥取豊岡宮津自動車道整備促進フォーラム・促進大会
- 18日・近畿地方道路整備促進総決起大会(東京)
- ・地方再生政策対話(東京)
- 19日・気比土地区画整理事業竣工式
- 20日・大石りくまつり(21日)
- 21日・台風23号メモリアル事業
- 30日・防災・減災フォーラム in岡山

【11月】

- 1日・地域航空フォーラム
- ・豊岡市美術展 全但児童生徒作品展(5日)
- 3日・全日本身体障害者野球選手権大会(4日)
- ・コウノトリの郷公園開園記念フォーラム
- 4日・港地区県民交流広場竣工式
- 5日・豊岡北地区暴力追放・防犯・交通安全大会
- 6日・図書館城崎分館開館記念式典
- 7日・城崎温泉駅エレベーター工事竣工式
- 10日・兵庫県保育大会

市議会役員人事決まる 議長に川口さん、副議長に上坂さん

11月14日、市議会臨時会が開催され、議会役員が改選されました。

議長に川口 匡^{たかすけ}さん、副議長に上坂正明さん、議員選出の監査委員に岡 満夫さんがそれぞれ選ばれました。

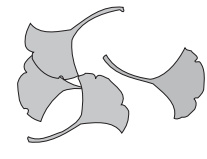
なお、各委員会の委員長、副委員長は次のとおりです。
(敬称略)



監査委員
岡 満夫

副議長
上坂 正明

議長
川口 匡



は委員長、は副委員長
常任委員会

【企画総務委員会】

芝地邦彦 升田勝義

【市民福祉委員会】

稲垣のり子 伊藤 仁

【文教委員会】

村岡峰男 門間雄司

【建設経済委員会】

森田健治 福田嗣久

議会運営委員会

木谷敏勝^{としまさ} 広川善徳

特別委員会

【議会広報特別委員会】

野口逸敏 福田嗣久

【交通網問題調査特別委員会】

谷口勝己 椿野仁司

【庁舎建設調査特別委員会】

吉岡正章 森本陸夫

【議会改革特別委員会】

古谷修一 青山憲司

「国体出場選手等による少年少女スポーツ教室」を開催 国体開催を契機にスポーツ振興 未来の国体選手に期待

10月21日、市では、兵庫県教育委員会との共催で「国体出場選手等による少年少女スポーツ教室(空手道競技)」を出石中学校体育館で開催しました。これは、昨秋開催された「のじぎく兵庫国体」を契機に市民のスポーツ振興につなげる目的で開催したものです。当日は、田中千秋監督(西宮市)と、豊岡市出身の稲垣宏美選手、岡田豊弘選手を講師に招き、講話や模範演技、そして実技指導をしていただきました。

「組手」の基本から、空手道に取り組む姿勢までの指導を受けました。

この子どもたちの中から、国体選手が育ってくださることが期待されます。



講師の指導を受けながら突きや蹴りの練習をする子どもたち

戸島湿地周辺の里山を整備 ボランティア団体が「うっそうと生い茂る竹を伐採

10月27日、市が整備を進めている(仮称)ハチゴロウの戸島湿地(城崎町戸島)周辺の山林で、モウソウ竹の伐採を行いました。

この取り組みは、企業・団体等のCSR活動(社会的貢献)として行われるコウノトリ野生復帰支援の一環として行っただけです。

当日は、復建調査設計(株)、円山川漁業協同組合、NPO

コウノトリ湿地ネットのボランティアの皆さんが、伐採した竹を次々と積みあげていきました。

参加者の皆さんは「このボランティア活動によってさまざまな生きものが暮らせるようになってほしい。コウノトリを想う人々と交流を深めることができるといいです」と口をそろえ、気持ちの良い汗を流していました。



生い茂った竹を伐採する参加者たち